

# 留学報告書 2024 年度 交換留学 白須真有

## ・大学や周辺の町について

私は 2024 年度秋学期に、カナダのレジャイナ大学に留学しました。

今回留学した町は大都会ではなく、広大な土地が広く落ち着いた地域でした。全体的に静かで穏やかな雰囲気があり、観光地としてはあまりぱっとしないかもしれません、住むには非常に適した環境だと思います。夏は最高 40 度程度と暑く、冬はマイナス 30 度を超えるほど寒いですが、電気や水道の環境が整った地域で外出時以外では問題ありませんでした。特に私が入寮した college west という寮は、大学の教室に外に出ることなく行ける併設した寮ということもありとても快適で、バスや Uber の交通手段も発達しており、近くに大きなスーパーや日本の 100 円均一店にあたる 1 dollar shop、日本食を豊富に扱うアジア食品店もあるため生活に不自由や不便さは感じませんでした。

## ・授業について

留学中は「人類学」、「ドイツ語入門」、「ヨガと太極拳入門」の授業を履修しました。授業のスタイルは日本とあまり変わりませんでしたが、基本的に 1 講義が 50 分程度で週に 2~3 回あることと、生徒が積極的に質問や発言をし、先生対生徒の会話が多いことが印象的でした。授業の中で特に苦労したのは、英語での早口なやり取りを聞き取ることや、字幕なしの映像資料を理解することでした。自分の英語力の不足を痛感し、まずリスニング力を向上させるために自主的に映画鑑賞や AI アプリを利用した会話練習をしました。

試験や発表、課題のスケジュールは授業によりますが、私の場合はかなり前から連絡があり、準備に十分な時間を確保することができたため、大きな問題はなく自分のペースで計画的に進めることができました。大学には図書室、PC 室、またプリンターが設置された場所や自習室も多くあり、パソコンの貸し出しも行ってくれるので勉強の環境はとても整っていました。

## ・寮での生活について

私は college west という寮の 6 人部屋を選択しました。それぞれ 1 人 1 部屋ずつ個室があり、リビングやキッチン、お風呂、トイレ等は共用という形態で、ルームメイトは私を含む短期留学生 3 人、在学生 3 人でしたが、国籍も文化もさまざまで興味深いものばかりでした。同じ寮で半年間ルームメイトと毎日顔を合わせていると自然と親しい友人関係を築くことができ、かけがえのない友達ができました。もちろん日常会話は英語ですが、辞書や翻訳に頼らず、わかるまで質問したり簡単な英語に言い換えてもらうだけでも英語力が大きく向上したように感じました。

## ・休日の過ごし方について

週末や休みの日は主に勉強や日用品の買い物をして過ごしましたが、1 週間ほど休暇があった際に旅行をしたり、下町に出かけて観光をしたりする人がほとんどでした。寒いカナダではウィンタースポーツも活発で、アイスホッケーの試合観戦やアイススケートに挑戦することもできました。

#### ・留学を終えて

今回の留学は、自分の成長において非常に意義深い経験となりました。この半年間を通じて、私の中で大きく変わったと思えることはあまりありませんが、いろいろな考え方を持つ人や生き方をする人を見て、関わって、どちらかといえば「自分はこんな人なんだ、こんな考え方で、こんな生き方をしてきたんだ」というようなことを今まで以上に理解できたように感じます。例えば、半年間私の周りには讃め言葉があふれていて、それは寮のルームメイトが毎日言ってくれた「そのシャツかわいいね」や「今日の髪型イケてるね」のような相手に対する言葉だけではなくて、「今日はテストの点が悪かったけど字がきれいに書けたからオールグッド！」であったり、「鹿とぶつかって車に傷がついたけど、こんなに面白い話のタネがゲットできて最高！」のように、自分が自分とうまくやっていくための明るい言葉でした。それを体感してすぐに考え方をそのように変えることはできませんでしたが、うまくいかない時や悪い出来事があったときでも、ほかでもない自分が自分を一番追い詰めて落ち込んでしまう私にとって、誰よりも自分が自分の一番の味方でいるような生き方がとても輝いて見えました。授業を通して学んだことだけでなく、人間関係を通じて得た経験は非常に価値のあるものだったと思います。今後もこの経験を活かし、英語だけでなく更なる人間性の面での成長を目指していきたいです。

#### ・これから留学する学生へ

事前の準備やおすすめのアプリの登録、手続きの仕方はアドバイスがかなり多くややこしいので、その大学に留学経験のある先輩に聞くのが一番だと思います。レジャイナ大学であれば私にも何でも聞いてください。

留学中のアドバイスは、1つ目に、授業は先生にとにかく質問すること。2つ目に、わからない英語に妥協しない、わかるまで話すこと。3つ目に多文化や多様性を受け入れ、いろんな人と出会ってもっともっと多くの考え方を知ること。留学の目的はたいてい英語力向上だと思いますが、この3つどれをとっても必ず英語力は伸びます。日本語が通じなくても同じ人間ですし、私たちが外国人のカタコトな日本語を聞いても何も思わないように、留学中に大事なのは完璧に話せる英語力ではなくて同じように相手を思いやる気持ちや一生懸命英語を使おうとする姿勢だと思います。私は留学を終えた今でも自分の英語が完璧だとは微塵も思わないし、英語を話すことに恥ずかしさや怖さもありますが、完璧な英語なら日本に帰ってから正しく教えてくれる先生がいます。英語を学ぶ意識ももちろん持ちながら、ただ完璧に話せなくても、失敗しても大丈夫です。友達や人を大切に、一生懸命やっていれば、たくさん得られるものがあると思います。結局人間関係で必要なのは完璧な英語ではなく、思いやりと優しさであることをお忘れなく！どうかいろんな人に出会い、たくさんの経験をしてほしいです。頑張ってください。